

先月、県大会地区予選が団体・個人の部でそれぞれ行われました。県立柏高校男子硬式テニス部は、団体の部・個人の部（シングルス 3年尾山が推薦）において、見事県大会出場権を獲得しましたので、ここに結果の報告をいたします。

祝！県大会出場！！

男子団体 柏南 スコア3-0 麗澤 スコア1-2
柏の葉 スコア1-2 市立柏 スコア2-1



4/12に県大会地区予選・団体の部が富勢庭球場で行われました。県立柏は、シードで2回戦からでした。1回戦で我孫子東高校を下した柏南高校とのカードになりましたが、県立柏が圧倒する内容となりました。3-0でこのカードを乗りきり、続く3回戦は強豪、麗澤高校でした。3回戦に勝ち上がった時点で県大会出場は決定しましたが、麗澤高校は以前に接戦の末敗れてしまった相手なので、全員特別な意識をもって試合に臨みました。シングルス1の3年尾山君が、麗澤高校のシングルス1の猛攻を振り切り6-3で1勝をあげましたが、残る2試合では相手の勢いに押し負けてしまいました。相手に試合の流れをリードされてしまい、私達の課題が顕著にあらわれた試合でもありました。最終的に、全12チーム中4位で地区予選を通過することができました。どの試合も、選手一人一人が健闘し、充実した内容になったと思います。まずは、県大会出場を決めることができ良かったと思います。

個人の部 ダブルス 尾山・田中ペア 5決 5-7 7決 7-6

先日の地区予選でベスト8を見事決め、5位決めに懸けた第1戦目、相手は強豪、柏陵高校のペアでした。この両名は、柏の葉高校の猛攻を下してのベスト8だったので接戦が予想されましたが、やはり5-5までもつれ込む展開となりました。しかし初戦ということもあり、本調子でなかった所もあったと思います。結果は5-7で敗れてしまいましたが、次の試合につながる内容でした。

7位決めがかかった2戦目には、先ほどの試合の反省点を活かし、より強い気持ちで試合に臨んでいる様子が伝わってきました。相手はまたも柏陵高校のペアでした。シードだけみると格上の相手でしたが、先ほどの試合から吹っ切れたかのようにショットが決まり、相手に2ゲーム以上の差をつけずに互角に食らいつく展開となりました。皮肉にも先ほどの流れと同じく5-5から5-6へとゲームを取られ、二の舞になるかと思われた終盤でしたが、反省点を活かし強気にプレーできたのが良い結果を生み、辛くも6-6まで追いつき、そのまま流れを断ち切らずにタイブレークの7-5で相手を下すという、見事な逆転で勝利を収めてくれました。6位までが県大会に進めるので、悔しくも県大会出場とはなりませんでしたが、素晴らしい試合だったと思います。（文責 部長 田村俊貴）